

活動名：第15回2014ゴールデンエイジ福島民報ピアンコーネカップ

日程：平成26年10月11日（土）～12日（日）

会場：西部サッカー場 メイン・サブグラウンド

参加：4年生リフティング上位選抜者 11名

帯同：設楽コーチ

報告：設楽コーチ

結果：準優勝（24チーム参加）

予選 ○赤木 ○アルカディア（山形） ○岳下・杉田

1位リーグ △FC Faro 渋谷（東京） ○野原グランディオス（栃木）

決勝 ●ジョカトーレ会津 1：3

今年の合宿でも交流試合をさせていただきました、「NPO 法人ピアンコーネ福島」さんからのご招待をいただき、この大会に初めて参加させていただきました。

大会は4年生以下が対象でしたので、現在24名いるアーレ4年生全員が対象ですが、全員出場することは試合出場の時間が短くなると考え、やむを得ず全員を対象とせず、今回はリフティング上位者11名の選抜者のみにしました。

この大会は県内外から24チームが集まり、有名な強豪チームも参加していました。

会場は大槻町の西部サッカー場で素晴らしい天然芝ピッチで観客席もあります。また、運営はピアンコーネさんの選手からご父兄まで全員が審判を含めて運営してくれました。

選手やスタッフも試合に集中できる環境で、天候にも恵まれ素晴らしい二日間でした。

天候といえば、最近、私が帯同する大会で「雨」が降らないので、とうとう「雨男」を返上することになりそうな私です(笑)

さて、試合について報告します。

私はこの大会の規模を事前から知っていたので、是非、この機会に頑張っている私たちFCアーレの選手のプレーを県内外のチーム関係者にアピールしたく、上位を狙いたい思っていました。しかし、参加した4年生たちと朝会うと、いつものように緊張感がなく、楽しさいっぱいの様子でした。選抜したメンバーではありますが、即席のポジションやチームワークであるため、実際にどのようなレベルの戦いになるのか、集まった時点で不安になりました(笑)

子どもたちへの朝のあいさつではこんなことを伝えました。

- ・大会に招待していただいた感謝の気持ちを忘れず、あいさつをみんなに行うこと。
- ・目標を持って挑むこと。（毎回ですが、みんな「優勝する！」と言っていました。）
- ・ミスを気にせず、いろんなプレーをチャレンジすること。
- ・大会後に優秀選手が本部で発表され、オールスターゲームがあるので、試合だけでなく行動も優秀であるように二日間を過ごすこと・・・etc



開会式

初日の「予選リーグ」の内容ですが、11名全員出場で前後半を交代しながら戦い、無失点で快勝できました。しかし、キーパーがない我がチームとしては、そのポジションをやらしてもらうのに一苦勞でしたが、任された子は精いっぱいプレーしてくれたので、奇跡の「無失点」でした。

試合になると子どもたちは、いつものどおりに元気に全力で挑んでいましたので、しっかりと結果がついてきました。予選リーグ1位通過です。この日は無失点のチームは我がチームだけでした。





次の日は1位リーグに進出しました。

県外の強豪チームとの闘いでした。

東京渋谷「FC Faro 渋谷」さん、栃木の強豪「野原グランディオス」さんとの闘いで1位通過しないと決勝戦には挑めません。しかし、試合慣れた相手チームの子どもたちは予選とは違い、アーレの子どもたちはなかなか思うようにプレーができず、得点も困難でした。しかし、アーレの子どもたちも果敢に向かっていき、何とか1位で通過しました。

キーパーをやってくれたのは、「イヤ」と言わなかった「緑川くん」でした。みんなからの信頼感もあり、ファインプレーを見せてくれました。また、大量の得点を決めてきた「国分くん」もみんなのためにゴールを決めてくれました。

他のメンバーは、今自分ができることを全て出し切って戦っていたように見え、頼もしく感じました。



目標が目の前にきた決勝戦にやってきました。

先輩のT6「加藤くん」、熊坂コーチ、渡辺コーチも応援にかけつけてくれました。

相手は大量得点で勝ちあがってきた「ジョカトーレ会津」さんです。点取り屋が数名いた相手チームだったので、守りの布陣で挑みましたが、フィジカルで負ける場面も多く、初めて2点をリードされる厳しい戦いとなりました。



試合終了間際には、「和田くん」が執念の1点をあげ、終了のホイッスルが鳴ってしまいました。

子どもたちもベンチに戻ってくると、私の前で悔し涙を見せました。

勝利ばかりでここまで来た選手たちは、最後に敗戦となり、子どもたちの真剣な戦い方をみて、私も絶対に勝たせてあげたい思いで声をかけ続けましたが、相手の方がフィジカルも高く厳しい戦いでした（泣）





4年生以下が対象の大会でしたが、県外のチームは特にレベルが高く、フィジカルも高く、試合慣れしている子どもたちが多かったように思います。しかし、アーレの子どもたちは、スキルアップを中心とした個々の練習が多いのに、試合では相手に対応でき、自分たちのプレーを披露できました。やはり、小学生年代ではチームづくりではなく、あらためて個人の練習の積み重ねで試合ができることを感じました。

この大会に選ばれなかった4年生の子どもたちも、それぞれにアーレの同じ年代で切磋琢磨し目標を持って頑張りたいと思っています。リフティングが選抜の指針になるので是非、今後の頑張りで順位が代わることが楽しみです。

二日間、ご父兄の皆さんの熱い応援を有り難うございました。子どもたちは幸せですね。

また、ピアンコーネの皆さん、そして、対戦したチームの皆さん、有り難うございました。

閉会式





オールスター選手に選ばれた国分斗亜くん